

A12b 流星電波観測国際プロジェクト

小川宏 (筑波大自然)、豊増伸治 (みさと天文台)、大西浩次 (長野高専)、前川公男 (福井高専)、網倉忍 (筑波大情報)、宮尾佳世 (旭丘高校)

2001年、しし座流星群に向けて、世界の流星電波観測者がネットワークをくみ観測を行った。これは「2001年しし座流星群電波観測プロジェクト」である。このプロジェクトには最終的に15カ国91地点の参加があった。しし座流星群に向けて、速報サイトとライブサイトを設け、どちらもホームページ上に掲載し、特にライブサイトのデータは10分ごとにwebへ更新されていった。これによって、多くの人々が現在の流星活動状況を知ることが可能となり、流星活動モニターとして大きな役割を果たした。また、これらの過去のデータもweb上に蓄積されていくため、各自の研究においてデータを利用することが可能となっている。現在も、流星電波観測国際プロジェクトとしてライブや速報などを利用し、ペルセウス座流星群やしし座流星群など、流星活動の監視を行っている。もちろんこれらのデータはweb上で見られるため、誰でも流星活動を確認することが可能となっている。今後も、流星活動のモニターとして、このプロジェクトが重要な役割を果たしてくものと期待される。